

熊大病院ニュース

第9号



2011.3



西病棟8階 GCU (Growing Care Unit—継続保育治療室)



NICUにて (新生児特定集中治療室)



憩いの広場



HCU (High Care Unit)

CONTENTS

特集1 P2
「外来診療完全予約制の一部導入について」



特集2 P3
移植医療センターの紹介

生後13日目の
生体肝移植に成功

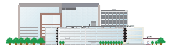


知っ得! 納得! P4
言語聴覚療法 (人工内耳と音声治療) について

診療科・部門紹介 P5

麻酔科

集中治療部



看護部だより P6
「アイアンマン」さんからの善意の贈り物



がんサロンサポーター P7
について

くまもと県民テレビの
番組内で熊大病院を紹介

総合案内 P8
外来診療日
院内処方
お薬お渡し窓口案内
病棟案内



病院敷地内全面禁煙のお知らせ

熊本大学医学部附属病院は、平成19年12月1日から敷地内全面禁煙を実施してまいりました。

喫煙は、肺がんや喉頭がんを始めとする多くのがんや循環器疾患等を誘発しますが、副流煙による受動喫煙によりたばこを吸われない周囲の人々にも健康被害が及びます。

本院は、分煙方式では受動喫煙は避けられないと判断し、病院敷地内全てに亘り、教職員はもとより、患者さまやそのご家族及びお見舞いの方など、病院出入りの全ての方々に全面禁煙へのご理解とご協力をお願いしてまいりました。

しかしながら、一部の喫煙者により敷地内禁煙が守られてない状況があり、また、周辺の方々からの喫煙に関する苦情もあることから、平成22年7月1日から、病院の建物内、敷地内(含む中庭、駐車場)および周辺道路を全面禁煙とし、もし禁煙を守れない場合は、来院者には退去勧告、入院患者さまには退院や転院を勧告することを決定しました。皆様のご理解とご協力をお願いします。



熊本大学医学部附属病院

【理念】

本院は、患者本位の医療の実践、臨床医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する。

【基本方針】

- ・患者の主訴・希望・期待・要求を尊重する医療の実践
- ・適切で安全安心と高信頼性の医療サービスをに患の心で提供
- ・優れた医療人の育成
- ・先進医療の開発と推進

【患者の権利】

- 本院はリスボン宣言に基づき、患者がもつ次の権利を認識し、それを守ります。
- ・良質な医療を受ける権利
 - ・担当の医師、病院、保健サービスを自由に選択する権利
 - ・十分な説明を受けた後に、治療を受け入れるか否か自由に決める権利
 - ・自身の情報を得る権利
 - ・自身の情報について秘密が守られる権利
 - ・健康教育を受ける権利

<看護師募集中>

あなたの笑顔が熊大病院の顔です。



担当：熊大病院 総務・人事ユニット 人事給与担当
096-373-5913

<http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp>



4月1日

から一部診療科で

外来診療完全予約制

が実施されます

熊本大学医学部附属病院は熊本県内唯一の特定機能病院として、質の高い医療を地域の皆様に提供することを目的としており、診療所や公立・私立病院との機能分担をすすめております。しかしながら、近年、外来患者数の増加により診療待ち時間が増加しており、また手術件数の増加による入院の待ち日数も長期化しています。そのため、本院での治療を必要としている患者さまへの十分な医療サービスの提供に支障がでております。

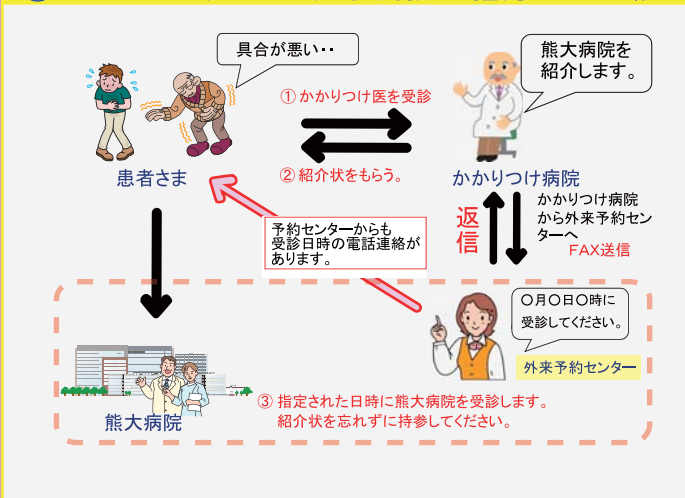
そのため、本院では、これらの悪化する診療環境の改善を図り、外来での診療待ち時間の短縮、十分な治療内容の説明、入院待ち日数の短縮など、外来・入院診療の効率化と患者さまへの医療サービスの向上を目的として、完全外来診療予約制度を一部診療科で実施する運びとなりました。

本制度は平成 23 年 4 月 1 日から実施予定であり、3 月 1 日から予約受付を開始いたしました。対象となる診療科は神経内科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、眼科、発達小児科、放射線治療科、麻酔科、神経精神科の 7 診療科です。

皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

予約方法について

① かかりつけ医より大学病院を紹介された場合



② ご自身で熊大病院受診を希望された場合



③ 予約なしで直接熊大病院を受診された場合は、受付で次回の受診予約をしていただくことになります。基本的に予約なしの受診はできませんが、緊急を要する場合は診察を行います。

外来予約センター受付時間

月曜～金曜（土日・祝祭日除く）9:00～17:15
電話：096-373-5973
FAX：096-373-5719

ライブラリー・インフォメーションのご案内

東病棟12階のライブラリー・インフォメーションは、入院生活をより快適にお過ごしいただくためのスペースです。ぜひ一度お立ち寄りください。

- サービス内容 : 図書の閲覧（約 1,000 冊所蔵）、インターネットの利用（有料）
- 開室時間 : 月～金曜日 13:00～17:00
- 利用対象者 : 入院患者さま及びそのご家族、お見舞いの方



▲ 室内の様子

「移植医療センター」を設置します

臓器移植は病気や事故によって臓器（心臓や肝臓など）が機能しなくなった方に、他の方の健康な臓器を移植して、機能を回復させる医療です。臓器移植には、心停止後の提供による移植と脳死後の提供による移植、ご家族から提供して頂く生体移植などがあります。

熊大病院は、心停止後又は脳死後の腎臓及び肝臓について移植ができる「腎臓移植施設」「脳死肝臓移植施設」にそれぞれ登録されています。昨年「臓器の移植に関する法律の一部を改正する法律」が改正されて以後、脳死下の提供による肝臓移植手術も2例行いました。（平成23年3月1日現在）

また、ご家族から肝臓を提供して頂く生体肝移植についても、これまでに300例以上の実績があります。昨年11月には日本最年少記録に並ぶ生後13日目、体重わずか2,600gの新生児への生体肝移植を行いました。新生児集中治療室（NICU）や小児科と連携して患者さまの治療を行い、今年1月、体重4700gまで成長し、元気になって退院されました。生体腎移植も年間数例ずつ行っています。



▲ 生後13日目の生体肝移植を受けた患者さまとご家族

このように、移植医療について高度な診療体制を有している熊大病院ですが、世の中にまだまだ移植を待ち望んでいる患者さまは多く、今後とも移植医療の社会的な需要が高まる事が予想されます。そこで、院内の移植医療の円滑な運営・管理を行うために、平成2

3年4月1日「移植医療センター」を新設します。

移植医療センターは、熊大病院の移植医療体制の要として、様々な診療科と連携・協力し、今より更に充実した移植医療体制の構築を目指します。移植手術以外の、免疫抑制療法、免疫抑制に伴う感染症対策、拒絶反応の病理診断、移植臓器補助のための各種人工臓器や血液浄化療法への対応、術前状態からの円滑な回復のためのリハビリテーションなど、複数の専門領域に亘る周術期（移植手術前後）の治療についても、移植医療センターが中心となって運営することで、診療科横断的な患者さまへのサポートを可能にします。

また、移植医療センターには専任の「レシピエントコーディネーター」が着任することになっています。レシピエントコーディネーターは、レシピエント（移植手術を受ける患者）の移植待機登録、レシピエントや生体ドナー（生体移植における臓器提供者）の心理的なサポート、長期的な移植患者や生体ドナーのフォロー支援、病院内外との連携など、患者さまやご家族に寄り添ってサポートを行います。

このように、移植医療センターが設置され、熊大病院の移植医療体制は今後ますます整備・拡充する予定です。移植手術を受ける患者さまやご家族の不安を少しでも取り除き、今後とも、患者さまが安心して移植を受けられる病院、患者さまに信頼される医療の実践を目指します。



▲ 移植手術の様子

「市民公開講座：くまもとの移植医療を考える」の実施について

熊大病院では、平成22年度から熊本県の地域医療再生計画に基づき「移植医療推進支援事業」を実施しています。

同事業活動の一環として、熊本における臓器移植の推進をテーマにした、市民公開講座を、3月6日（日）ホテル日航で開催しました。

公開講座は、およそ130名もの一般市民の方が参加される中、前半は、実際に臓器移植を体験されたご本人やご家族の方4名による体験談、後半は、本院の教員による肝移植と腎移植に関するミニ講座を行いました。

また、前半と後半の合間には、熊本大学マンドリンクラブによるアンサンブル演奏を楽しんでいただき、臓器移植に関して広く一般

市民の方に知っていただくため、肩肘張らず気軽に聴講できるような講座プログラムにしました。

平成22年7月に臓器移植に関する法律が改正され、本院でも脳死肝移植が実施されるなど、臓器提供数も増加しています。

熊大病院は、熊本の移植医療を推進していくため、これからも、移植医療の啓発活動や移植医療技術の向上に積極的に取り組んでいくことにしています。



▲ 市民公開講座

言語聴覚療法 (人工内耳と音声治療) について



Q 人工内耳とは何ですか？

人工内耳とは

内耳は外耳、中耳で集められた音を電気信号に変えて聞こえの神経（聴神経）に伝えます。人工内耳とは、聴神経を直接電気で刺激し、音を感じることができる装置です。このため、内耳に障がいのある高度難聴者に使用します。

Q 人工内耳の機器とはどのようなものですか？

人工内耳の機器

体外部と体内部とに分かれます。体外部は音を受け取るためのマイクロフォン①、音を電気信号に変えるスピーチプロセッサー②、情報を体内に送る送信コイル④からなります。送信コイルは磁石で体内部の受信コイル⑤と頭皮を介して接しています。体内部は受信コイル⑤とその先にある蝸牛内電極⑥からなります。

Q どの方が適応となるのですか？

人工内耳の適応

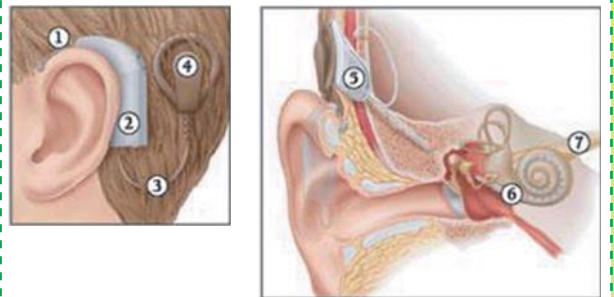
両側の高度難聴で補聴器の効果がない時が適応です。小児は1歳6カ月から手術が受けられます。

Q 手術を受けるとすぐに聞こえるようになるのですか？

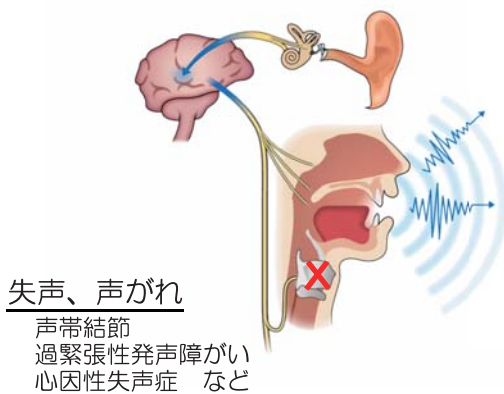
人工内耳手術後の訓練

人工内耳を装用すれば、すぐにことばが理解できるわけではありません。小児は、聞き取りのトレーニングを繰り返し行わなければなりません。専門の施設との連携が重要になります。成人は、聞こえの回復に対する意欲が大切です。

人工内耳の機器図

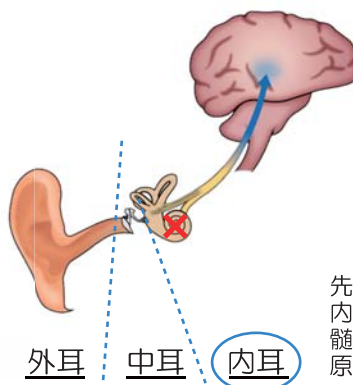


言語聴覚療法を要するコミュニケーション障害



失声、声がれ
声帯結節
過緊張性発声障がい
心因性失声症 など

音声治療 ※



先天性難聴
内耳炎による聾
髄膜炎後の聾
原因不明の高度難聴 など

人工内耳

※ 音声治療

音声治療とは、日常生活の誤った発声習慣を矯正し、正しい発声方法を指導することです。医師と言語聴覚士が連携して、声の衛生指導、リラクゼーション、音声訓練の3つを行います。対象は、保育士やインストラクターなど声を酷使する方に多い声帯結節、会議や電話など緊張した場面で声を使用する方に多い過緊張性発声障がい、ストレスによって声が出なくなってしまう心因性発声障がいなどです。

診療科・部門紹介

麻酔科

麻酔科は、手術時の麻酔を担当する診療科です。麻酔は、手術時も痛みから解放されたいという願望から始まりました。麻酔科は痛みをとることが得意な診療科です。また、手術中には痛みをとるだけではなく、血圧などの循環系・呼吸系のコントロールも行っています。新生児から高齢者まで全ての手術が安全に行えるように、日々努力しております。



▲ 緩和ケア病床

麻酔科外来では、痛みの治療（ペインクリニック）を行っています。この外来では、消炎鎮痛薬の内服などの通常の痛み治療では鎮痛が得られにくい痛みの治療を行っています。この痛みの代表的なものが神経障害性疼痛です。神経障害性疼痛は、神経が傷つくことにより生じます。その特徴は、日常生活では感じる事のない痛み（灼けるような痛み、ピンと走るような痛み、通常では痛みと感じない刺激によって生じる痛み（アロディニアと

呼ばれる)) にあります。代表的な疾患には、帯状疱疹後神経痛、幻肢痛、手術後の慢性痛などがあります。このような痛みに対して、神経ブロック療法、薬物療法を行っています。また痛みの治療から診療の領域が広がり、緩和医療にも取り組んでおります。熊本大学医学部附属病院は熊本県がん拠点病院であり、緩和ケアチーム・緩和ケア外来（麻酔科外来に併設）があります。麻酔科は、緩和ケアチーム・緩和ケア外来の運営に積極的に関わり、痛み治療以外にも呼吸困難・吐き気・だるさなど多くのがん患者さまが持つ症状の緩和を進め、QOL向上に努めております。また東病棟8階に新たにオープンした緩和ケア病床の運用も行っております。

このように、麻酔科は手術時の麻酔にとどまることなく、痛みの治療・緩和医療と幅広く診療を行っています。痛み・がんに伴う辛い症状などでお困りの際は、お気軽に麻酔科にご相談下さい。



▲ 臨床カンファレンスの様子

集中治療部

集中治療部（ICU）は、西病棟6階に11床のベッドを持ち、病院内で最も重症な患者さまの診療を集中治療専門医、ICU担当看護師、臨床工学技士らによって総合的に行っています。

集中治療部において治療の対象となる患者さまは外科系、内科系を問わず、急性の呼吸不全や循環不全あるいは敗血症、主要な臓器不全が対象で、成人だけでなく乳児から高齢者まで幅広く受け入れをしています。心臓や大血管、食道、肝臓移植の手術後などに加え、県内全域と近県より、心筋梗塞、ショック、意識障害、重症脳血管障害、広範囲熱傷、中毒、その他多様な重症な患者さまが入室して来ています。

平成12年3月には、医学部に救急医学講座が新設され、それまで少なかった院外救急患者の受け入れにも尽力し、救急車搬入台数も少しずつ増加しています。ICUは平成15年10月に西病棟6階に移転し、11床へ増床され、中央診療棟の手術室とも距離が短く、安全に行き来することができます。中央診療棟屋上のヘリポートを活用し、防災消防ヘリを

活用した遠隔地からの患者さまの受け入れも増加しています。ICU内では、高度な人工呼吸器管理、血液浄化療法が日常的に行われ、ときに経皮体外循環（PCPS）を装着し、心臓の機能が非常に悪い患者さまの治療にも当たっています。ICUの年間収容患者数は500名足らずと多くはありませんが、全診療科と密に連携しながら県内で最も重症な方々の治療を引き受けております。

平成20年からは、救急外来チームが救急部集中治療部から分かれ、院外救急の初期対応に専念し、ICUは入院後の重症患者治療に専念しています。

平成22年9月には東病棟が開院し、ICUと同じ6階にHCU(High Care Unit)の12床できました。電子カルテも導入し重症度に応じた治療や看護をこれまで以上に効率的に提供できる体制になりました。

ICUでは、適応患者の受け入れをできるだけ断らない方針で運営しております。

皆様からのご紹介を心よりお待ちしております。



▲ ICUの病室

恵和会イベント

財団法人恵和会の助成により開催されている院内のイベント等を紹介いたします。

ハロウィンイベント

平成22年10月29日(金)に、周産期・小児医療センター(西・東病棟8階)でハロウィンイベントを実施しました。

入院中の子ども達が集まったプレイルームは、ジャック・オ・ランタン等の飾りつけによりハロウィン一色に。

ペーカリーカフェ「サンテ」で作ったお菓子やパンのプレゼントが手渡され、子ども達は「おいしそう」と満面の笑みで受け取っていました。



クリスマスプレゼント

平成22年12月24日にサンタクロースやトナカイに扮した財団法人恵和会の職員と病院職員が病室を巡回し、約60人の子ども達にプレゼントを贈り、一緒に記念撮影をしました。



ひな人形を展示

平成23年2月1日から平成23年3月下旬まで外来ロビーと中央診療棟エントランスホールにおいて、財団法人恵和会のご厚意によりひな人形を展示しております。

ひな人形の展示は、患者さまやご家族の方への癒しと、安らぎの空間を演出するため実現したものです。是非ご覧下さい。



「糖尿病療養指導士の活動」

「糖尿病療養指導士」のことをご存知ですか？

糖尿病療養指導士とは糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識を有し、医師の治療方針に沿って患者さまに熟練した療養指導を行うことのできる医療従事者に対し日本糖尿病療養指導士認定機構が与える資格制度（5年毎更新）で平成12年から認定が開始されています。

糖尿病は年々増加し、2007年の厚生労働省の国民健康・栄養調査では、有病者数約890万人と推定され、戦後60年あまりで30倍以上に増加しており、合併症も深刻化しています。熊本大学医学部附属病院の外来、入院患者でも糖尿病を有している方が急増しており、当院における糖尿病医療のさらなる充実が望まれています。糖尿病治療の目標は慢性合併症の発症・進展を阻止し、健康な人と変わらないQOLを維持し、寿命を確保することです。

当院看護部には糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師が現在8人おり、「糖尿病の療養指導は糖尿病の治療そのものである」という立場から、各部署で糖尿病看護を実践しています。具体的には個々の患者さまの病態や生活環境を理解し、ともに目標をもって療養指導を行っているところです。その実施にあたってはこれまで確立されている指導・学習の理論を参考に、食事療法・運動療法・薬物療法をどう生活に組み入れていくかを患者さまとともに検討し、自己

管理能力を高めるような指導に努めています。また内科外来では糖尿病療養指導士によるフットケアも行っています。



▲ フットケアの様子

看護実践の他に看護部の糖尿病療養指導士グループでは平成17年度より当院の看護師に対する研修会を実施しています。今年度は新規採用者に対して「インスリン療法の基礎知識および実技演習」「糖尿病看護とリスクマネジメント」というテーマで2回の研修会を開催しました。さらに地域活動として熊本県内の糖尿病療養指導士（看護師）を対象とした研修会も平成20年度から年3回開催し、44の施設から延べ391人の参加がありました。



▲ 糖尿病療養指導士（看護師）

また糖尿病治療には専門性を生かしたチームアプローチが必要とされています。チームでの活動として当院の医療スタッフが糖尿病に対する知識を共有しスキルアップを図り、さらに各部署、糖尿病療養指導のリーダー的人材育成の一助となることを目的として、平成19年に代謝内科医師、西病棟9階看護師長ならびに各職種の糖尿病療養指導士を中心として「熊本大学糖尿病療養指導研究会」を発足させました。活動内容としては糖尿病療養指導を行う上で必要な情報を盛り込んだ「熊本大学医学部附属病院療養指導マニュアル」を作成し各部署に配布しました。また、平成19年7月より「糖尿病療養指導に関する勉強会」をスタートさせ、以来今年度まで、月一回のペースで開催し、延べ163人の参加者の中から看護師・管理栄養士・薬剤師計14人が新たに糖尿病療養指導士の認定を受けることができました。

今後もこれらの活動を通して、糖尿病療養指導に関する病院全体のレベルアップに貢献していきたいと考えています。

今後ともこれらの活動を通して、糖尿病療養指導に関する病院全体のレベルアップに貢献していきたいと考えています。

「アイアンマン」さんからの善意の贈り物

熊本大学病院にこのほど、全国で話題となっているうれしい贈り物が届きました。平成23年1月14日（金）12時頃、当院の防災センター窓口に、50代から60代くらいと思われる男性が現れ、「他人から頼まれた。」と言い3つの大きな段ボールを置いて去っていかれました。



▲ 大小96個のぬいぐるみの贈り物

段ボールの中には、大小あわせて96個もぬいぐるみが入っており、「小児科の子

どもさん達や他の入院患者さまに、差しあげてください。早く病気が治りますように、心から願います。正義の味方 アイアンマンからです。」とのメッセージが添えてありました。



▲ 喜ぶ子どもの患者さま

ぬいぐるみは新品でとても綺麗で、看護師より手渡された子どもたちは、人気キャラクターを手にとり大喜びでした。

がんサロンサポーターについて

県内に「がんサロンの輪」広がる!

昨年4月に熊本病院に「熊本がんサロン」が誕生し、約一年が経ちました。毎月たくさんの方がこのサロンを楽しみに参加されていますが、その中から、新たにサロンを立ち上げたいと希望する方々が、熊本がんサロンネットや各地域のがん拠点病院などの支援を受けて、各地でサロンをオープンされました。今では県内に10カ所程開設されています。

熊本がんサロン終了後に県内のがんサロン間の情報交換の場として、また新たにサロン新設を希望する方を支援する場として、がんサロンネットを開催しています。(希望者はどなたでも参加できます)

県内のがんサロン情報を掲載した熊本がんサロンニュースや各サロンのパンフレットは、熊本病院のがん相談支援室(中央採血室内)に掲示しております。



熊本病院は現在4カ所のがんサロンを支援しています

□ 熊本がんサロン

開催：毎月第3火曜日 10時～12時
場所：熊本病院内 山崎記念館
対象：がん患者・家族・支援専門家
連絡先：096-373-5676 (直通)
熊本病院 がん相談支援室

□ 玉名がんサロン

開催：毎月第3木曜日 11時～13時
場所：手打ちそば「もちの木」
玉名市岱明町下原 845
会費：500円(食事代)
連絡先：090-7180-9681
「もちの木」店主 池田勇二さん

□ 金峰山がんサロン

「ぼちぼちいこう楽遊彩」
開催：毎月第2水曜日 11時～13時
場所：熊本市河内町 1844-416
会費：500円(食事代)
連絡先：090-4474-5368
世話人：河喜多はるみさん

□ 菊池がんサロン

「しいの木」
開催：毎月5日 10時～12時
場所：菊池市七城町山崎 112
会費：300円(食事代)
連絡先：096-7269-4173
世話人：田村直美さん

【がんサロンについてのお問い合わせ】 連絡先：096-373-5676 (直通)

場所：熊本病院 がん相談支援室(中央採血室横)

がんサロンリーダー・サポーター養成セミナー

がんサロンを県内に広げ、支援者を養成するため、熊本県が主催して、1月29日～2月6日にかけて全2回の養成セミナーが開催されました。

会場は県内3カ所で開催され、大学病院は熊本会場として、1月30日、2月6日に募集定員30名をはるかに上回る約80名の方が受講されました。

内容は臨床心理士によるピアカウンセリングの講義やピアカウンセラーによる実践を交えたグループワークなどがあり、受講者は相手の気持ちに寄り添う心構えなどを熱心に学ばれました。



▲ 養成セミナー

がんサロンフォーラム2011 ～熊本いのちの支え合い～

「がんサロンフォーラム2011 熊本いのちの支え合い」が2月19日に県庁で開催され、約180人の方が参加されました。

熊本病院がんセンター外来化学療法室長の佐々木治一郎先生による講演では、がんサロンは「医師に患者目線の視点を与え、育ててくれる場」として、医療従事者の積極的な参加を呼びかけられました。

熊本がんサロンのサポーター募集!

患者仲間で作られる癒しの空間で、悩みや気持ちを語りあうひとときの時間を共有してみませんか? 熊本がんサロンでは患者さま、ご家族の他に医療従事者の参加もお待ちしております。いつでもお気軽にサロンにお立ち寄りください。

きっと会場のみなさんから、たくさんの元気がもらえるはずですよ!

大学病院のスタッフ、その他の医療機関等の皆様の参加を心よりお待ちしております。



▲ 熊本がんサロン

くまもと県民テレビの番組内で熊本病院を紹介

くまもと県民テレビ「KKT医療ナビ! Dr. テレビたん」の番組内で、熊本病院の取り組みが毎月紹介されています。

放送は毎月1回、最終土曜日の午後5時から。なお、番組のウェブページでは過去放送分も視聴できます。是非ご覧下さい。

★「KKT医療ナビ! Dr. テレビたん」
<http://www.dr-tvtan.jp/top.php>



▲ 「メタボリックシンドロームと糖尿病」撮影時の様子

番組制作者インタビュー

くまもと県民テレビ
編成制作局制作部部長職 久保賢治さん

「KKT医療ナビ! Dr. テレビたん」は、放送とウェブを融合して医療情報を伝えるという、テレビ局として全く新しい試みで、平成22年4月にスタートしました。熊本病院には、最新医療などを伝える「メディカルリポート」というコーナーで協力をいただいています。

取材を通して感じることは、医療の飛躍的進歩。がんの分子標的治療薬、放射線治療、眼科治療など、「最新の医療はここまで!」という驚きの連続です。21世紀の医療はいったいどこまで進歩するのか、興味は尽きません。

その一方で、周産期医療の過酷な現場を必死で支える医師、休日返上で心配蘇生術の普及に努める医師など、様々な分野で真摯に医療に向き合う医師たちの姿が印象的でした。

今後も「医療の今」を見つめて、情報発信を続けたいと考えています。

総合案内

① 受付時間	初診 8:30~11:00 再診(予約なし) 8:30(再来受付機:8:25)~11:00 再診(予約あり) 8:30(再来受付機:8:25)~17:15	※再来診療は原則的に予約制となっています。
② 予約受付時間	初診予約受付・再診予約変更受付	8:30~17:15
③ 診療時間	開診日の8:30~17:15	
④ 休診日	土曜、日曜、祝日、振替休日及び年末年始(12月29日~1月3日)	
⑤ 診察日	◎印(外来診療日参照)の日は初診も再診も行っております。	
⑥ 通常の診療以外に次の相談、検診を行っております。	禁煙外来(呼吸器内科) 脳ドック(脳神経外科)	セカンドオピニオン(全診療科) 検査知外来(中央検査部)
		乳がん検診(乳腺・内分泌外科) 不妊相談(産科)

外来診療日

(各診療科の◎印は「初診」「再診」を行っています。
★印は完全予約制の診療科です。)

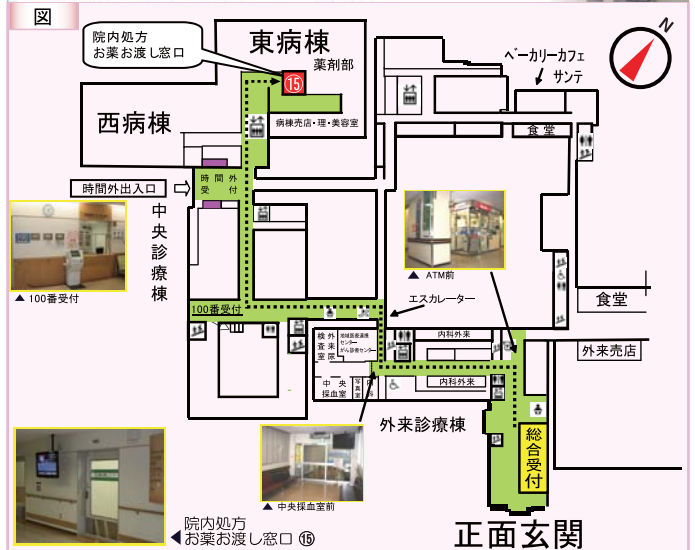
平成23年4月1日現在

診療科名	月	火	水	木	金
総合診療(救急・総合診療部)	◎	◎	◎	◎	
呼吸器内科	◎	◎	◎	初診のみ	◎
消化器内科	◎	◎	◎	◎	◎
血液内科	◎	特殊再診のみ	◎	特殊再診のみ	◎
膠原病内科	◎	特殊再診のみ	◎	特殊再診のみ	◎
腎臓内科	◎	◎	◎	◎	◎
代謝・内分泌内科	◎	◎	◎	◎	◎
★神経内科	(要予約)	(要予約)	(要予約)	(要予約)	(要予約)
循環器内科	◎	◎	◎	◎	◎
小児科	◎		◎		◎
★発達小児科		(要予約)		(要予約)	
整形外科		◎		◎	◎
★眼科	(要予約)	(要予約)	特殊再診のみ(要予約)	(要予約)	
★耳鼻咽喉科・頭頸部外科	(要予約)		(要予約)		(要予約)
歯科口腔外科	◎	◎	◎	◎	◎
画像診断・治療科	◎		◎		◎
★麻酔科・緩和ケア(緩和ケアは完全予約制対象外)	(要予約)		(要予約)	(要予約)	(要予約)
心臓血管外科		◎		◎	
呼吸器外科		◎		◎	
消化器外科	◎	◎	◎	◎	◎
乳腺・内分泌外科	◎	◎	◎	◎	◎
小児外科	◎		◎	◎	◎
移植外科	◎		◎	◎	◎
泌尿器科		◎		◎	◎
婦人科	◎	不妊外来	◎	不妊外来	◎
産科	◎	不妊外来 生殖医療 カウンセリング	◎	不妊外来	◎
皮膚科	◎		◎	◎	◎
形成・再建科			◎	◎	◎
★神経精神科		(要予約)	(要予約)	(要予約)	(要予約)
脳神経外科	◎		◎		◎
★放射線治療科	(要予約)	(要予約)	(要予約)	(要予約)	(要予約)
リハビリテーション部		◎		◎	◎

熊本病院は高度医療を提供する「特定機能病院」として厚生労働省から承認を受けています。地域医療機関との分業を行うため、原則としてかかりつけ医(他の医療機関)の紹介状が必要です。円滑な診療のために紹介状をご持参ください。紹介状がない場合でも受診できますが、初回および再初診の際に「保険外併用療養費(選定療養)」として3,150円(自費、平成23年4月現在)をご負担いただきます。

※完全予約制について、お尋ねになりたい場合は、下記にご連絡ください。
● 外来予約センター TEL (096) 373-5973

院内処方 お薬お渡し窓口 案内



病棟案内

【西病棟】	【東病棟】
耳鼻咽喉科・頭頸部外科、膠原病内科	12F 院内学級、患者多目的室、ライブラリー・フォーメーション
血液内科、感染免疫診療部、膠原病内科	11F 呼吸器内科、呼吸器外科
泌尿器科、皮膚科、形成・再建科	10F 歯科口腔外科、泌尿器科
代謝・内分泌内科、腎臓内科、画像診断・治療科、放射線治療科	9F 眼科、糖尿病病棟
小児科、発達小児科、NICU、GCU	8F 小児科、移植外科、小児科、発達小児科、消化器内科、緩和ケア病棟(共通)
周産母子センター(産科)、MFICU	7F 婦人科、乳腺・内分泌外科
ICU、血液浄化療法部	6F 心臓血管外科、HCU、呼吸器外科、救急・総合診療部
脳神経外科、SCU、神経内科	5F CCU、循環器内科
神経内科、消化器外科	4F 消化器外科
RI	3F 消化器内科
神経精神科	2F 整形外科
栄養管理室 栄養相談室 防災センター	1F 薬剤部 売店 理容室 美容室
設備室	B1F 霊安室 病理解剖室 機械室



交通案内

- 『熊本駅前』バス停からバスに乗り、『大学病院前』下車
所要時間 15分
- 『交通センター』からバスに乗り、『大学病院前』下車
所要時間 15分
- 『阿蘇くまもと空港』からリムジンバスに乗り、『交通センター』下車
所要時間 40分
- 九州自動車道熊本インター出口国道57号線を熊本駅方面(産業道路)へ右折

熊本大学医学部附属病院
〒860-8556 熊本市本庄1丁目1番1号 TEL (096) 344-2111 (代)
http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp FAX (096) 373-5906